

地球が泣いている！

政処 裕介

たすけてー！

地球が熱を出しています。風邪をひいたのかな？「地球温暖化」が進んでいます。

地球の表面は窒素や酸素などの大気があるので、地球に届いた太陽光や太陽の熱は地球での反射などによって宇宙に放出したり、また大気が存在するので「服」の役割をしてくれていて、急激な気温の変化が少なくなっています。

大気中の二酸化炭素は〇.〇三%とほんの少しですが、地表で放射される熱を吸収して、もう一度地球に返すことによって、地球の平均気温を摂氏一五度に保つのに大きな役割をしているのです。

二酸化炭素などのこのような働きをするガスを「温室効果ガス」と呼んでいます。

でもそのガスの影響で一八世紀の後半ぐらいから地球の気温は上がっています。

一八世紀後半頃から、産業の発展で人類は石炭や石油などを大量に消費するようになり、大気中の二酸化炭素の量は 200 年前と比べ 30% ぐらい増加しました。

もしこれからも人類がそのことに配慮せず同じような活動を続けるとすれば、二一世紀末には二酸化炭素濃度は現在の 2 倍以上になって地球の平均気温はますます上がっていくと考えられています。

温室効果ガスには、二酸化炭素のほかメタンやフロンなどがありますが、フロンなどの人工の化学物質は二酸化炭素より温室効果が強く、少しでも地球温暖化への影響は強くなっています。

いまの温暖化はとくに人間がエネルギーをよく使うことが原因であると言われています。また最近は特に二酸化炭素の排出量が増えていて、一般家庭では一九九〇年に、約一二九百万トンが排出されていましたが、二〇〇八年度ではどんどん増え何と約一七〇百万トンが排出されています。

人間はどんどんとエネルギーを使い、その副産物として不要な物を排出しています。自動車はガソリンを動くエネルギーに換え、自動車を走らせてその副産物として不要なガスを排出します。

そのガスには人間に大変有害な一酸化炭素や、光化学スモッグを引き起こす光化学オキシダントへ変化し、人や農作物への悪影響ある酸化水素も含まれているのです。

また、酸性雨を降らせる原因になる窒素酸化物や、地球温暖化の原因になる二酸化炭素も発生します。

自動車だけではありません。

いくら直接ガスを排出しなくても、電気も発電するために、ほとんどは大量の石油を使っています。

だから今は石油なしではなにもエネルギーが使えないのです。

だから今、僕らができることはそのエネルギーの使う量をできるだけ減らすようにする「省エネルギー」を実行することだと思います。

エアコンの温度調節を一度弱めにするると一世帯当たりの二酸化炭素排出量は約三ーキログラムも減らせます。

また、エアコンをつける時はドアや窓はきちんと閉めてそれに加え、カーテンを閉めて効率を上げると、設定を弱められるので使うエネルギーがもっと少なくて済みます。

また服を工夫することなどでエアコンをつけずに過ごしてみたりエアコンを使い始める時期を遅らせることによりさらに効果があるでしょう。

エアコンをつけずに、家の周りに打ち水をします。

撒いた水が蒸発することで熱を奪い、それにより少し気温を下げる効果があるからです。

みんなが協力してすると都心部などでの「ヒートアイランド現象」も抑えられます。

ちなみに、打ち水は午前中の涼しい時間帯に行った方がよいそうです。

昼間に行うと、地面が熱せられている為すぐに蒸発してかえって蒸し暑くなってしまうからだそうです。

東京都が都市部のヒートアイランド対策として、数十万人の都民がいっせいに打ち水を行うという計画を進めています。

また、環境省なども地球温暖化対策キャンペーンのひとつとして打ち水をすすめているほか、全国各地の市町村なども打ち水を計画して実行しています。

環境省ホームページに行くと「環境に配慮して、水道水は使わず風呂などの残り水を二次利用しましょう」という注意が書いてありました。

蛇口から出る新しい水を、使わずに使い古した水を再利用することにより一石二鳥です。

使い古した水といっても汚水をまけば良いというものではありません。回りが臭くなっては意味がありません。それこそ環境汚染です。前の日に入ったお風呂の残り湯を使うのがいちばんいいでしょう。

保水効果を高めるため道路に追加舗装をしたり、散水車で水をまいているところもあるくらいです。

でもみんなひとりひとりがすればそんなことをしなくてもいいのです。

みなさんも一度やってみてください。

このほかにも、たくさん身近に出来ることがあると思います。

自分たちの生活のしかたやムダをもう一度考えなおして、「省エネルギー」を心がけてみればどうですか？